



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年8月6日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,373	△2.8	21	40.8	25	29.4	7	110.9
30年3月期第1四半期	1,412	△6.3	15	△38.4	19	△34.5	3	△76.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	0.88	-
30年3月期第1四半期	0.42	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	4,733	1,815	38.4	217.19
30年3月期	4,535	1,828	40.3	219.03

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 1,815百万円 30年3月期 1,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	2.50	-	2.50	5.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	2.50	-	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	1.9	112	105.0	129	79.2	56	382.1	6.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	11,660,734株	30年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	3,300,898株	30年3月期	3,312,090株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	8,353,834株	30年3月期1Q	8,304,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、財務状態については適及処理後の前事業年度末の数値で比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策等による企業業績の改善、良好な雇用状況が下支えとなり、緩やかな回復基調が継続しました。一方では、各企業の労働力不足は依然として続いております。

このような環境の中で、当社は経営の基本方針「トータルライフ・ケアの推進」として定め、お客さまの生活を支えるための商品やサービスを、多角的かつ多面的に推進してまいりました。このことが当社の企業理念として掲げる「健康づくり・幸福づくり・人づくり」の原動力となります。そして、心の絆を大切にしたヒューマンネットワークを更に広げ、当社ならではの「ふれあい業」を充実させ、顧客及び市場からの評価を高め、収益力の向上と経営基盤の強化を図ってまいりました。

売上高につきましては、今期に入っても人手不足が解消されず営業人員は前年同期比で減少しましたが、新小売システム導入により営業効率の改善や社員教育の強化などにより、一人当たりの生産性は向上しました。

その結果、当第1四半期における売上高は1,373百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益は21百万円(前年同期比40.8%増)、経常利益は25百万円(前年同期比29.4%増)、四半期純利益は7百万円(前年同期比110.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、新小売システムにより、今後の更なる顧客サービスの追及と営業効率の改善が行えるようになりました。売上高につきましては、家庭医薬品等販売事業の小売部門において、前年同期と比べ、営業人員の減少により売上高は減少しましたが、一人当たりの生産性は向上し増益となりました。

卸売部門においては、売上高につきましては、前年同期は新たにフランチャイズ契約を締結した取引先への事業開始のための商品在庫を補完する卸売販売があったため減少しました。

その結果、売上高は1,217百万円(前年同期比3.0%減)、セグメント利益19百万円(前年同期比321.5%増)となりました。

②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目標としております。また小売部門や卸売部門で取り扱っている「琉球もろみ酢飲料」などの水関連商材の販売においても積極的に取り組みましたが、One-Way方式の販売に伴う配送コストの増加等により減益となりました。

その結果、売上高は154百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益2百万円(前年同期比74.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,198百万円となり、前事業年度末に比べ186百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加107百万円、受取手形及び売掛金の増加85百万円によるものであります。固定資産は2,535百万円となり、前事業年度末に比べ11百万円増加いたしました。

この結果、総資産は4,733百万円となり、前事業年度末に比べ198百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は2,322百万円となり、前事業年度末に比べ250百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加120百万円、賞与引当金の増加71百万円によるものであります。固定負債は596百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少32百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,918百万円となり、前事業年度末に比べ211百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,815百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少14百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.4%(前事業年度末は40.3%)、1株当たり純資産額は217.19円(前事業年度末は219.03円)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月15日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「平成30年3月期決算短信」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	700,724	807,811
受取手形及び売掛金	432,823	518,682
商品及び製品	371,503	345,887
委託商品	380,990	381,638
仕掛品	115	108
原材料及び貯蔵品	22,442	22,010
その他	107,090	127,078
貸倒引当金	△4,346	△5,077
流動資産合計	2,011,345	2,198,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	584,832	576,362
土地	1,313,150	1,313,150
その他(純額)	61,110	56,705
有形固定資産合計	1,959,094	1,946,219
無形固定資産	135,420	125,219
投資その他の資産		
前払年金費用	82,666	86,446
その他	351,482	382,265
貸倒引当金	△4,408	△4,437
投資その他の資産合計	429,740	464,274
固定資産合計	2,524,255	2,535,713
資産合計	4,535,600	4,733,854
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	392,134	415,506
短期借入金	830,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	193,999	174,001
未払法人税等	38,021	36,706
賞与引当金	142,630	213,945
返品引当金	19,155	13,543
その他	455,432	518,401
流動負債合計	2,071,371	2,322,103
固定負債		
長期借入金	159,310	126,652
退職給付引当金	147,041	149,020
株式給付引当金	11,228	12,614
資産除去債務	4,652	4,665
長期未払金	232,720	232,720
その他	80,682	70,435
固定負債合計	635,635	596,108
負債合計	2,707,007	2,918,212

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,702,732	1,688,204
自己株式	△986,239	△983,094
株主資本合計	1,821,682	1,810,300
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,909	5,341
評価・換算差額等合計	6,909	5,341
純資産合計	1,828,592	1,815,641
負債純資産合計	4,535,600	4,733,854

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）
売上高	1,412,254	1,373,229
売上原価	417,605	398,324
売上総利益	994,648	974,904
販売費及び一般管理費	979,058	952,959
営業利益	15,590	21,945
営業外収益		
受取利息	43	39
受取配当金	479	469
受取家賃	3,639	3,029
事故保険金	133	2
その他	787	768
営業外収益合計	5,083	4,308
営業外費用		
支払利息	1,137	976
その他	0	1
営業外費用合計	1,137	977
経常利益	19,536	25,276
特別損失		
固定資産除売却損	100	—
特別損失合計	100	—
税引前四半期純利益	19,436	25,276
法人税、住民税及び事業税	23,461	30,067
法人税等調整額	△7,498	△12,113
法人税等合計	15,963	17,953
四半期純利益	3,472	7,323

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	1,142,120	113,880	155,176	1,411,177	1,077	1,412,254
計	1,142,120	113,880	155,176	1,411,177	1,077	1,412,254
セグメント利益 又は損失(△)	10,733	△6,208	11,065	15,590	—	15,590

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	1,112,982	104,810	154,357	1,372,150	1,078	1,373,229
計	1,112,982	104,810	154,357	1,372,150	1,078	1,373,229
セグメント利益 又は損失(△)	23,420	△4,345	2,870	21,945	—	21,945

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。